

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	ディスコミュニケーション論特論		
英文授業科目名	Advanced Lectures on Discommunication		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	中島 義道		
居室	東1-605		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
人と人とのコミュニケーションがいつも成功するとは限らず、失敗すること（ディスコミュニケーション）も稀ではない。本講義では、様々なディスコミュニケーションの原因や形態を探求することを通じて、「コミュニケーションとは何か」さらに「人間とは何か」という問いに迫りたい。

【前もって履修しておくべき科目】
コミュニケーション論（学部授業）

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
とくになし。

【教科書等】
とくになし。

【授業内容とその進め方】
<ol style="list-style-type: none"> 1. ディスコミュニケーションとは何か？ 2. 哲学的視点から 他者、言語行為論、言語の限界等々。 3. 精神病理学的視点から コミュニケーション不安、ひきこもり、統合失調症、うつ病、PTSD等々。

電気通信大学 平成19年度シラバス

4. ディスコミュニケーションの対策と克服

各学期に以上のすべてを扱うのではなく、参加者の関心を考慮してテーマを選択する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業への積極的参加+レポート。最低達成基準は、欠席が3日を超えないという条件で、「可」になりえるレポートを提出すること。

【オフィスアワー：授業相談】

とくに決めないで、あらかじめメールで申し込むこと。

【学生へのメッセージ】

問題意識を持って積極的に授業に参加すること。

【その他】

とくになし。